

緑の風



令和7年・11月号

ホーム <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/> E-mail wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp

「人との関わり」を通して

校長 福江大幸

季節も進み、朝晩もだいぶ冷え込むようになりました。木々も色づき始め、まもなく、私たちの目を楽しませてくれると思います。

さて、9月から10月にかけては、社会見学や音楽会、グリーンスクール、様々な地域行事など、学校内外で「人と関わる活動」が多く行われました。

同じクラスの友達と一緒に活動することは、学校生活の中ではごく当たり前のことです。学習だけでなく、休み時間や給食の時間など、いつも子どもたちは友達と関わりながら学校生活を送っています。しかし、前述した活動では、クラスの友達だけでなく、別のクラスや異学年の子どもたち、場合によっては教員を含む大人や別の学校の子どもたちとも関わることになります。

言うまでもなく、私たちは一人で生きているわけではありません。いつも誰かと関わりながら、日々の生活を送っています。そういった中では、「わがまま」や「独りよがり」は通用しません。ルールやマナー（集団の決まり）を守ることはもちろん大切です。しかし、マスコミ報道などでは、このような当たり前のことが守れていない大人の姿を見かけることもあります。残念な気持ちになります。さて、次の表をご覧ください。

1, 2年	3, 4年	5, 6年	(参考) 中学校
(1) 親切、思いやり	(1) 親切、思いやり	(1) 親切、思いやり	(1) 思いやり、感謝
(2) 感謝	(2) 感謝	(2) 感謝	(2) 礼儀
(3) 礼儀	(3) 礼儀	(3) 礼儀	(3) 友情、信頼
(4) 友情、信頼	(4) 友情、信頼 (5) 相互理解、寛容	(4) 友情、信頼 (5) 相互理解、寛容	(4) 相互理解、寛容

これは、道徳の授業で学ぶ（4つのカテゴリに分かれている）「内容項目」と言われるもののうち、「B主として人との関わりに関するここと」として学ぶ内容を表にしたもので、内容項目には他にも「A主として自分自身に関するここと」「C主として集団や社会との関わりに関するここと」「D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するここと」の3つがあります。前述したとおり、人と関わる中では、上に挙げたことも大切ですが、「規則の尊重」「公正、公平、社会正義」といった「C主として集団や社会との関わりに関するここと」の内容も同じように大切になってきます。こういった内容について道徳の授業はもちろん、日々の教育活動全般を通して、子どもたちの道徳的な心情や態度を養うのが、道徳教育の目標となっています。

「人と関わる活動」は、子どもたちにとっても上に挙げた内容項目を実際に学ぶことができる（学んだことを生かす）貴重な機会となります。今後多くの教育活動を通して、本校の子どもたちの健やかな心の育成を推進したいと考えます。

和木小コミスクひろば



10月3日（金）、学校運営協議会委員さんと教職員（ほぼ全員）で熟議をしました。テーマは「パートナーと考えよう！本校の課題とその解決策～明日から進める第一歩～」でした。保護者の皆さんからもたくさん意見をいただいた、『前期学校評価の結果』をもとに行いました。

保護者の参加者がないことが残念でした。今後の課題にします。

